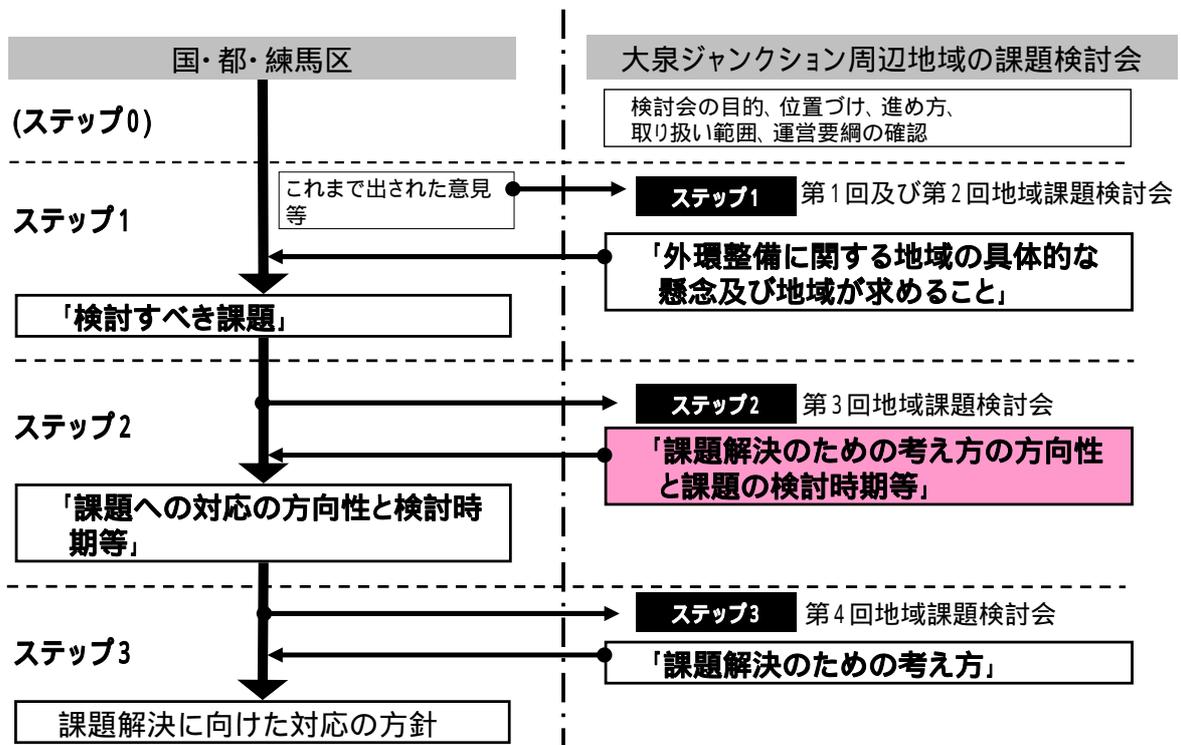


## ステップ 2-1

### 課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等（案）

- ・ ステップ 2 において、各グループで議論いただいた成果となるものです。
- ・ 本文は、これまでグループごとに各メンバーが議論した内容を「調査、計画、工事、その他」に分けて運営事務局が整理した部分（箇条書きの部分）と、その議論を踏まえて各グループの進行役が整理した枠囲み部分とで構成されています。



## 大泉ジャンクション周辺地域の課題検討会 課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等(案)

### 【本資料について運営事務局より】

- ・本資料は、大泉ジャンクション周辺地域の課題検討会「ステップ2」において、各グループで議論いただいた成果となるものです。
- ・本文は、これまでグループごとに各メンバーが議論した内容を「調査、計画、工事、その他」に分けて運営事務局が整理した部分（箇条書きの部分）と、その議論を踏まえて各グループの進行役が整理した枠囲み部分とで構成されています。  
枠囲み部分は、主催者（行政）が今後「課題への対応の方向性と検討時期等」を策定する際に参照することとなります。
- ・第4回の課題検討会では、グループ検討において、箇条書き部分や枠囲み部分などに関する追加・修正の指摘や、これらをさらに具体的に、また詳細にするような議論をお願いします。
- ・本資料の修正等については、地域課題検討会終了後に「地域課題検討会・成果集」（仮称）としてとりまとめる際に、反映させるものとします。

平成20年9月25日  
大泉ジャンクション周辺地域の課題検討会

## A グループ

### (1) 調査

#### 【意見のまとめ】

外環整備前後の大気質への影響の変化を正確に把握できるように。また、生活用水として活用している地下水の水涸れや水質の影響、および白子川の流量などへの影響を把握できるように。調査にあたっては、関係機関との連携や周辺施設からの影響を考慮すること。

#### 環境

- ・外環による大気への影響を懸念している。現在の外環ができる前の大気状況と、できた後の状況を比較することで、外環ができたあとにどれくらい大気に影響が及ぶのか目安が得られる。
- ・ぜん息に関するデータは、排気ガスによる健康被害を正確に示していないのではないかという懸念がある。15歳未満はアトピー性によるぜん息が多い。また、東京都のぜん息患者数データは、医療費助成認定数である。12歳未満は医療費を払わなくて良いので、正確な患者数とは乖離があると考えられる。肺癌など大人の排気ガスによる健康被害のデータを示すことで、地域における排気ガスによる健康被害を正確に把握することができる。
- ・ぜん息に関するデータは、排気ガスによる健康被害を正確に示していないのではないかという懸念がある。練馬区に住んでいる人は練馬区だけで生活しているわけではないので、福祉保険局のデータが練馬区の大気汚染が原因で健康被害を受けているのかどうか分からないことを踏まえた検討を行うことで、練馬区の大気汚染による健康被害を正確に把握することができる。
- ・健康への影響などは国交省は専門外の分野であるため十分な調査ができないのではないかと思っている。専門機関である環境省や厚生労働省と連携することで、きちんとした調査を行うことができる。
- ・予測では換気所の排気ガス量しかないが、外環の換気所から出る排気ガスと清掃工場から出る排気ガスにより、地域の大気汚染がひどくなる懸念がある。清掃工場から出る排気ガスを含んだ予測を行い、外環と清掃工場による排気ガスの総量を前提とした対策を講じることで、地域の大気への影響を回避することができる。
- ・井戸水を使っているお宅が多いので、地下水の水質が悪くなることを懸念している。十分な地下水脈調査を行うことで、井戸水の水質が悪くならないようにすることができる。
- ・井戸水を使っているお宅が多いので、地下水脈が変わってしまい井戸

が使えなくなることを懸念している。練馬区等の地域情報を十分把握している部署と連携し、外環整備に関するしっかりとした地下水脈調査を行うことで、整備後も井戸水を使えるようにすることができる。

- ・井戸水を使っているお宅が多いので、地下水脈が変わってしまい井戸が使えなくなることを懸念する。地下水脈調査を深いところ(200mくらい)までを対象として行い、大泉周辺で生活に地下水を使っているお宅が汲み上げている200mくらいの深さの部分の状況を把握することで、井戸が使えなくならないようにすることができる。
- ・井戸水を使っているお宅が多いので、地下水脈が変わってしまい水量が減ったり、井戸が使えなくなってしまうことを懸念する。十分な地下水脈調査を行うことで、井戸の水量が減ったり、使えなくなってしまうないようにすることができる。
- ・地下水脈が変わってしまい、地下水が白子川に流れなくなり、流量が減ってしまうことを懸念している。練馬区等の地域情報を十分把握している部署と連携し、外環整備に関するしっかりとした地下水脈調査を行うことで、外環整備後も今までどおり地下水が白子川に流れ込み、白子川の流量を確保できるようにすることができる。
- ・地下水脈への影響が懸念される。地下水脈については練馬区が詳しいので、地域情報を十分把握している練馬区の担当部署と連携し、地下水脈調査を行うことが重要である。
- ・八の釜周辺は地下水脈が複雑なので、外環整備による影響で地下水脈が変わってしまうことを懸念する。八の釜周辺の地下水脈が複雑なことを踏まえ、詳細に深い所まで十分な地下水脈調査を行い、外環の整備により地下水脈が変わらないようにすることが重要である。

## (2) 計画 (環境施設帯)

### 【意見のまとめ】

八の釜の自然に湧き出る湧水と緑の保護を。また、公園など、樹林地や避難所の整備等、地域の役に立つ活用を。外環による道路の分断の影響を極力抑えるために、開削部を狭くするとともに、歩行者用の橋を架けることなどによる代替機能の確保を。

### 環境

- ・八の釜は、自然に湧き出る湧き水が貴重なので、出来るだけ現在の位置に残す努力をして欲しい。もし出来ないのであれば、自然に湧き水の出る場所を代替地として憩いの森を移転して欲しい。
- ・八の釜周辺は、多くの居住者が散歩等に利用しており、市民の憩いの場として貴重な場所。八の釜がなくなってしまうのであれば、八の釜に代わる市民の憩いの場を確保して欲しい。
- ・八の釜付近の環境施設帯に、現在の八の釜と同じような規模の樹林地が整備されることを期待する。

### まちづくり

- ・環境施設帯に公園を設置するなど、地域に新たな憩いの場出来ることを期待する。
- ・地域に災害時の避難場所がないことが心配だ。環境施設帯を災害時に利用できるトイレや、水道、流しなどの防災用の設備のある避難場所として整備して欲しい。
- ・環境施設帯を地域のためになるよう活用してほしい。環境施設帯に水道やトイレのある地域の一時避難所を整備することで、地域に役立つように活用することができる。
- ・環境施設帯を地域のためになるよう活用してほしい。環境施設帯に避難所を整備するときは練馬区役所(防災課)と協議して行うことで、地域の人に使いやすいものにすることが重要である。
- ・開削部分により道路が分断され、家の前から東西に通行できた道が通れなくなり、不便になるのではないかと。開削部分に側道をつけてほしい。
- ・地域分断で掘り割りの上に道路を付ける時の生活道路としての取り付け方を検討してほしい。
- ・外環で地域が分断されることが不安である。開削部分の幅を狭くしてなるべく地域分断の影響を小さくしてほしい。
- ・開削部分が商店街を通る道路を分断する計画となっている。商店の目の前に道路がないと、売り上げにも影響するので商店の前を通る道路

を作してほしい。

- ・開削部により地域が分断されることが心配だ。生活道路の機能を確保するため、開削部に歩行者用の橋を架けることも考えて欲しい。

## (3) 計画 (周辺部)

### 【意見のまとめ】

外環整備にあわせて地域全体の交通計画を検討したり、幹線道路を整備すること等で、幹線道路の渋滞や地区内への通り抜け交通の流入を抑えるとともに、バス路線への影響が極力小さくなるように。外環の周辺地域の動植物の生態系への影響にも配慮を。

### 交通

- ・目白通りから大泉街道をつなぐ道路が計画されているが、周辺の渋滞が心配なので、前原交差点まで延伸して欲しい。
- ・周辺の幹線道路を整備することにより、目白通りなどの幹線道路の渋滞が減少することや地区内道路への通過交通が減少することを期待する。
- ・外環の整備に合わせ、地域全体の交通計画もしっかりやってほしい。

### 環境

- ・石神井公園など周辺の動植物の生態系への影響が心配である。周辺の生態系への影響がないようにしてほしい。

### まちづくり

- ・外環工事中や完成後に、土支田通りや東映通りを通るバス路線が廃止されるのではないかと懸念がある。バス路線が廃止されないようにしてほしい。
- ・大泉街道、都民農園方面の現在のバス路線に影響があるのか不安である。現在のバス路線に影響がないようにしてほしい。

#### (4) 計画 (換気所)

##### 【意見のまとめ】

外環整備後に交通量が大幅に増えてしまった場合の対応等も含めて、換気所や出入口等の集中により、周辺の大気質に影響が及ばないように。

##### 環境

- ・大泉には出入り口や換気所という施設が集中しているという不平等感がある。換気所を分散してほしい。
- ・排気ガスが換気所で処理しきれず、周辺に漏れてしまうことを懸念する。排気装置をしっかりしたものにする事で、大気への影響への不安を抑制することができる。
- ・外環が完成して便利になるため、交通量予測を越えてしまい、排ガスが換気所で処理しきれず周辺に漏れてしまうことが懸念される。外環完成後の交通量が予測を越えた場合の排ガス処理の対策を明確にすることにより、外環が完成して便利になることにより交通量が予測を越えても排ガスが換気所で処理可能であることを明らかにする。

#### (5) 工事

##### 【意見のまとめ】

工事車両の集中にともなって、交通事故の発生や交通渋滞が悪化しないように。また、工法等の検討により、騒音や地下水等の環境影響を抑えられるように。

##### 工事中

- ・工事車両が目白通りに入り込むと、通勤時の交通渋滞が現状よりも酷くなる心配がある。外環工事前に大江戸線を延伸し、通勤時の鉄道駅までのアクセスの向上に配慮してほしい。
- ・工事による生活への影響が不安。いつから工事になるのか知りたい。
- ・開削をせずにトンネルにすれば、工事中の騒音や地下水など多くの問題が解決すると思われる。技術的にしっかり検討してほしい。
- ・小中学生や高齢者等の歩行時の安全性や、交通事故への懸念がある。

#### (6) 計画 (ジャンクション部)

##### 【意見のまとめ】

開削部を極力少なくすることで、工事中の騒音、地下水、移転の影響をできるだけ抑えられるように。また、出入口付近を緑化するなどにより、潤いのある空間の創出を。

##### 環境

- ・開削をせずにトンネルにすれば、工事中の騒音や地下水など多くの問題が解決すると思われる。技術的にしっかり検討してほしい。
- ・インター出入り口付近の景観が、緑などが無く殺伐とした雰囲気にならないよう、緑の整備を期待する。

##### 用地・補償

- ・開削部は居住者の移転が必要になるため、開削部を最小限にしてほしい。

#### (7) 計画 (トンネル部)

##### 【意見のまとめ】

事故が発生した場合に安全に避難ができるようにするなど、トンネル部の安全性が確保されるように。

##### 安心・安全

- ・トンネル部分で事故が起きたときの安全性について懸念している。トンネル部分で事故が起きた場合に、安全に避難できるように十分な対策を講じることで、トンネル部での事故時の安全性を確保することができる。

#### (8) その他

##### 【意見のまとめ】

排気ガスへの対応方法などを正確に伝え、市民の不安が払拭されるように。生活設計が立てられるよう、工事の時期などのスケジュールを明確に。

##### 用地・補償

- ・生活設計ができないので、スケジュールを明確にしてほしい。

##### 計画検討の進め方

- ・排気ガスへの対応方法がこれまで出されている資料によって違うように見え不安である。正しい排気ガス対策を明確に示し、資料によって排気ガスへの対策が異なるように見える不安を払拭することが重要である。

## B グループ

### (1) 計画 (換気所)

#### 【意見のまとめ】

換気所のコンパクト化や排ガス処理等の最新技術の導入などについても検討することなどにより、周辺地域の大気環境が良好に保たれるような換気計画を。災害、停電、換気所の故障などによる大気質への影響の軽減(リスクの分散)を。また、騒音が抑えられ、周辺の景観と調和した換気所となるように。

#### 環境

- ・大気汚染による子どもたちへの健康への懸念がある。もっと低い数値に抑えられるように換気所の機能を向上すべきである。
- ・換気所の規模が大きく、数が少ないことを懸念している。もみじ山に在る空き地を利用した換気所を計画することにより、買収のための手間もかからず、複数の換気所建設が可能になり、換気所の小規模化が期待できる。
- ・換気所の現在の計画内容では、トンネル内での災害時、停電時、換気所の故障等のトラブル発生時に対応できず、周辺住民の健康への影響が懸念される。横流式は縦流式よりも大気中の有害物質の除去に有効なので、コストがかかっても換気方式を横流式とし、複数の換気所を設置することで、健康への影響も少なくなり、故障等のトラブル発生時のリスクを軽減できる。
- ・当地域に集中する大量の排ガスなど大規模な換気所に対する懸念がある。大深度ではなく地上権のかからない浅い範囲で外環を整備することで、換気所の規模を小さくでき、大量の排気ガスの集中や景観への影響を軽減できる。
- ・換気所の供用後に環境基準値(NO<sub>2</sub>)をオーバーするのではないかと心配している。換気所の排気処理機能の向上が必要ではないか。
- ・換気所が10km間隔で設置されているが換気所の機能が十分に機能するか心配だ。フィルターなど故障・事故が起こるのではないかと、安全対策は十分か心配である。物事に100%確実なことはない。換気所を分散するなど十分リスク対応を考えてほしい。
- ・換気所から100m上空に排気を噴出できる能力が確保できるか心配である。換気所を分散するなど換気所1箇所にかかる負担を少なくしてほしい。
- ・換気所からの二酸化窒素の流出が心配である。最新の技術を導入し、

脱硝装置をつけてほしい。

- ・換気所のNO<sub>2</sub>やSPMの除去性能が十分であるか、また除去しきれなかったNO<sub>2</sub>やSPMが排出されることによる大気への影響が心配である。脱硝装置や集塵装置など、換気所に最新技術を導入してほしい。また最新技術について山手通りなど最新事例を視察したり、情報提供をしてほしい。
- ・換気所の現在の計画内容における排気ガスの影響による大泉地域への負担の大きさや、故障等の非常時のリスクを懸念している。換気所の数を増やすことにより、排気ガスの影響を分散し、故障等の非常時モリスクを軽減できる。
- ・これまでに例を見ないほどの大規模な換気所が問題なく十分に機能を発揮できるのか懸念している。換気所の機能を十分に確保してほしい。
- ・これまでにない高さの換気所が想定どおりに問題なく機能するのか、地域住民、自分達の子孫が実験材料にされてしまうのではないのかという大きな不安がある。換気所が計画通りに間違いなく機能するようにしてほしい。
- ・換気塔からの排気ガスによる影響が心配なので、SPMやNO<sub>x</sub>の処理にはどのような方法を使うのか知りたい。
- ・換気所から100m上空に排気を噴出するときの騒音が心配である。ジェット機と同じくらいまたはそれ以上の騒音が出るのではないかと。換気所を分散するなど換気所1箇所にかかる負担を少なくしてほしい。
- ・大規模な換気所による景観阻害を懸念している。大深度ではなく地上権のかからない浅い範囲で外環を整備することで、換気所の規模を小さくでき、景観への影響を軽減できる。
- ・縦流式では換気所の規模が大きくなり、最新の技術を適用できないことが懸念される。横流式にして無駄のないコンパクトな換気所を設置することにより、しっかり処理できる最新技術が導入でき、地域への影響(負担)を緩和できる。
- ・新たな技術が開発されても換気所の規模が大きいために活用できないのではないかと懸念している。換気所の規模を小さくすることで、最新技術の活用に関する不安など、これまでに類を見ない様な大きな規模の換気所への懸念を払拭する。

#### 計画検討の進め方

## (2) 計画 (環境施設帯)

### 【意見のまとめ】

環境施設帯に道路を整備することなどにより、地域分断を解消し、防犯面に配慮しつつ、スーパーなど生活利便施設への動線と通学路の確保を。また、地域にとって深い意味のある場所となっている八の釜憩いの森の有効な保全・代替の対応を。

### 環境

- ・八の釜は自然環境的な意味合いだけでなく、地域の人にとって思いの深い場所になっている。このような点を、行政側はきちんと受け止めて計画すべきだ。
- ・外環が八の釜を通るなら、八の釜からびくに公園に水を引いて白子川に流れを作るようにすることを提案したい。今は運動場に使われているが、八の釜の代替地として使ってはどうか。

### まちづくり

- ・地域分断や交通不便の解消のために連絡道路は必要だが、地下道では使い勝手が悪く、防犯上も危険だという懸念がある。地上での連絡道路を設置することにより、防犯に配慮しつつ地域の分断解消を図り、交通利便性を担保することができる。
- ・地下道によるアクセス道の確保はホームレスの問題が出てくる可能性や、特に防犯上危険なことが心配である。外環上部を活用するなど地上での連絡道路を設置することにより、風紀や防犯に配慮しつつ地域の分断解消を図り、交通利便性を担保することができる。
- ・買い物のために日常的に利用しているオズやオオカワ（現スーパーバリュー）への生活動線が外環によって分断されてしまうのではという懸念がある。環境施設帯を活用してアクセス道路（連絡道路）を設けることにより、日常の生活のための動線を確保でき、地域分断の解消が期待できる。
- ・三原台中学校、泉新小学校の学区が分断されてしまうので、通学路を確保してほしい。
- ・大泉3丁目では、外環のために地域が分断されて生活圏が変わってしまい、商店街も無くなった。同じ様な分断の影響が出ない様にしてほしい。

### 計画検討の進め方

- ・都からは八の釜は消滅するのは当たり前と言われたのに、この会での説明によればできるだけ残すと言われた。八の釜に対する見解が説明主体によって異なるので、この場で残すと言われても信じ難い。

## (3) 計画 (周辺部)

### 【意見のまとめ】

目白通りや大泉街道など周辺地域の主要道路の渋滞が悪化したり、新たな商業施設の立地にもなう交通量増加による住環境への深刻な影響がないように。また、集会場などの地域の主要な施設への動線確保を。

### 交通

- ・現状でも大泉街道の駅近くの渋滞が激しく、外環開通後の渋滞の悪化が懸念される。大泉街道を適宜拡幅することで、外環が開通することによる渋滞悪化の解消が期待できる。
- ・外環ができることで、目白通り沿いに新たに店舗ができ、渋滞が悪化することを懸念している。目白通りを適宜拡幅することにより、外環が新規開通することによる渋滞悪化の解消が期待できる。
- ・現況でも土日や雨の日にはスーパーを訪れる車で目白通りや大泉街道が渋滞しており、外環ができることで渋滞がさらに激しくなるのではないかと心配である。目白通りや大泉街道の交通量に影響が無いようにしてほしい。
- ・首都高10号線の整備を進めるべきではないか。外環だけでは十分な効果がなく、逆に渋滞がひどくなるのではないかと懸念する。

### まちづくり

- ・つくしの子児童遊園～三原台地域集会所など細い道路についてもアクセス性をしっかり確保することにより、日常生活圏の分断を解消し、住民の身近な移動経路の利便性と安全性を担保してほしい。

## (4) 調査

### 【意見のまとめ】

調査をより厳密に行い、外環整備に伴う大気質への影響の変化に見落としがないように。

#### 環境

- ・ジャンクション周辺の小学校のジャンクションからの排気による影響が心配。ジャンクションから500m圏内にある学校をポイントにして影響について調査してほしい。
- ・換気所からの排気による住民の健康への影響が心配である。換気所予定地から1km範囲くらいの住民に呼吸器系、白内障系の目の疾患等について、アンケート調査を実施して公表してほしい。子どもについては区が喘息に関する調査を行っている。
- ・大気への影響を見るための調査地点が少なすぎて、正確な影響が測れていないのではないかと懸念がある。観測地点を最大限増やしてより正確なデータを収集・測定することで、地域の大気質への影響のより厳密な分析が期待できる。
- ・現在公表されている環境影響に関するデータの信頼性に懸念がある。二酸化窒素やCO<sub>2</sub>などの環境影響については、現状でもっとも悪いと思われる場所(大泉北小、谷原の交差点など)で調査してほしい。

## (5) 工事

### 【意見のまとめ】

工事車両が集中することによる生活道路の渋滞や、騒音、振動や排気ガスの影響がないように。工事期間中に道路が分断されてしまうなど、地域の交通利便性や安全性への影響がないように。また、工事とともに地下埋設物等に影響が及ばないように。

#### 工事中

- ・工事期間が10年と長期に渡ることを考えると、工事のトラックの往来による騒音、振動、交通渋滞などが心配である。トラックがどのようなルートを使って地域に出入りするのかも気になる。工事車両により地域の環境に影響が及ばないようにしてほしい。
- ・工事中から生活道路の取り付けを配慮しアクセス機能を確保してほしい。周辺からの交通が増えて渋滞が発生することを懸念している。
- ・長期に渡る工事中の地域分断に対する懸念があるので、地域分断を回避するための迂回路を考慮してほしい。
- ・地下埋設物への対処がどの様に行われるのか不安。地下埋設物に影響がないような対処をしてほしい。

## (6) 計画(ジャンクション部)

### 【意見のまとめ】

関越上り方面の出口を新たに設ける等、外環整備とあわせて地域の交通利便性が高まるように。

#### 交通

- ・関越からの上り出口が地域で降りられず不便だ。目白通りインターチェンジで降りられるようにしてほしい。

## (7) その他

### 【意見のまとめ】

換気の方式や換気所の性能、外環の必要性、八の釜の代替措置、外環の事業着手の時期など、地域住民が不安に思っていることに対する十分な情報提供と理解・解決のための対話を。

#### 交通

- ・大泉ジャンクションの渋滞解消のために早期に外環を完成させて欲しい。

#### 環境

- ・換気所による大気への影響を懸念している。換気所を作らなくても良い方法が確立されるまで整備を延期することにより、換気所が原因で生じている様々な懸念を払拭できる。
- ・将来的な車の数の減少や性能の向上などを十分考慮した上で換気所が検討されていないのではないかと懸念がある。将来的な車の数の減少や性能の向上など今後の社会経済情勢を見据えて、換気所を検討することが重要である。
- ・他地域の換気所と比較して大泉のSPMとNOxの値が高く、大泉だけに大きな負担があり不公平なことを懸念している。換気所で何をどのように処理するのかを公表することで、他地域の換気所と比較して大泉のSPMとNOxの値が高い状況に対する懸念を払拭することができる。
- ・換気所で排気ガスが実際には適切に処理されないのではないかと不安。換気所で何をどのように処理するのか知りたい。

#### 計画検討の進め方

- ・換気所の計画について最新式という表現は抽象的すぎるので、本当に最新の技術が採用されるのか懸念がある。換気所の計画を具体的に示すことで、最新の技術の採用についての懸念を払拭することが重要である。
- ・技術が発展しても換気所に最新の技術が採用されないのではとの懸念がある。最新の技術を使うことを大前提とした換気所の計画を具体的に示すことで、最新の技術の採用についての懸念を払拭することができる。
- ・将来的には車の数が減少するのではないかと考えると、外環が本当に必要なのかという懸念がある。将来の動向を踏まえ必要性を明らかにしてほしい。
- ・過去の工事で目白通りの通学路が遮断されたが、情報提供が十分でなく混乱した経緯がある。計画の早期発表、周知を十分してほしい。
- ・大気の現状と予測値を比較して検討できるように、事前に双方の具体的な数値を教えてほしい。

- ・最新式の脱硝や集塵装置を付けたことが住民には確認できないという懸念がある。最新方式を採用している状況を住民が確認できるようにすることで、信頼関係を築くことができ住民の心配の解消につながる。
- ・八の釜を残して欲しいという意見を言っても、対応に変化がなく、何も変える気がないと感じている。住民の意見を聞く姿勢が見られないことが、話をしても仕方がないと思わせ、不信感につながっている。このような状況を改善してほしい。

## Cグループ

### (1) 計画(環境施設帯)

#### 【意見のまとめ】

開削部分は極力蓋掛けすることで環境施設帯部を増やすようにするとともに、環境施設帯を緑地や商店街にする、子供が楽しめる場にする等、地域にとって有効な活用を。また、八の釜憩いの森などに代表される地域の特長が残せるような活用を。防犯面にも配慮された空間となるように。外環整備により分断されてしまう生活道路に対しては、交通弱者も含めた利用者が安全に便利に利用できる観点で代替機能の確保を。

#### 環境

- ・大泉北中学校の北側の関越と外環に挟まれた部分は、立ち退き後に、大きな樹木を保存し残している。今回もそのような配慮をして欲しい。
- ・開削部分で、蓋掛け出来る部分は、八の釜樹林の代替としてできる限り植樹してほしい。
- ・八の釜の湧水がなくなるのであれば、それに代わる水源を設け、何箇所か池をつくり歩道をつくるなど、子供達が楽しめる場づくりに期待している。昔いた螢の復活など観光名所となることも期待する。
- ・整備により失うであろう緑や自然の代替を確保することにより、地域の特性を残すことが重要なので、調整池を八の釜の代替地として「ショウブ」などを植えたり、螢を移すなどし、観光地になるように取組む。
- ・びくに公園や白子川調整池に八の釜の代替地として緑を増やすことを希望する。

#### まちづくり

- ・開削部分の地上部分で蓋がけできる部分などは、商店街にしてはどうか。
- ・開削部分の蓋がけ部分を有効活用してほしいので、緑地や商店街にする。
- ・開削部分の計画地で蓋がけできる部分に存在する道路は、現状の道路の確保を希望する。
- ・目白通りの大泉インター入口付近に地下道があるが、地下に下りないと渡れず、車椅子やベビーカー等の通行が困難である。本計画では、弱者重視で生活道路の機能を確保してほしい。
- ・開削部分により、三原台中学校の学区域が分断されることが心配なので、開削部分の計画地に存在する道路の扱いについて知りたい。

#### 安全・安心

- ・防音壁付近等における植栽が、暗がりを生み、防犯上悪影響があるのではと懸念される。植栽の整備において防犯に配慮してほしい。

### (2) 計画(換気所)

#### 【意見のまとめ】

換気所の分散、高さの検討、横流換気方式の導入などにより、換気所に集められる外環本線の排気ガスや粉塵が換気所で十分に処理され、処理した空気による周辺地域への影響がないように。PM2.5等も含め、周辺住民の健康に大きな影響が生じないように。処理方法、換気方式の十分な説明を。

#### 環境

- ・喘息、肺がん、アレルギーなどの健康被害を少なくするために、煙突の高さを高くしてほしい。
- ・中央環状線に比べ外環は換気所が少ない。コスト的な理由だと考えるが、コストをかければ変更できると考える。
- ・近くに練馬清掃工場もあり、環境への負荷を少なくするため分散して排気できないか。
- ・排気ガスの排出が大泉に集中することが懸念される。換気所の増設や、処理方法を再検討することで、他の地域からも流れてくる排気ガスの大気への影響や、地域へのしわ寄せの懸念を取り除くことができる。
- ・換気所からの排気による身体への影響が心配なので、粉塵への対策を行い、影響が無いようにしてほしい。
- ・渋滞を想定した換気方式の中央環状線とはことなり、外環の換気計画は、一般のトンネルと同じ「縦流換気方式」で計画しているが、もし渋滞を予想していないようであれば渋滞した場合の排気ガスの処理方法を検討してほしい。
- ・換気所の方式が適切かどうか懸念している。コスト重視で処理方法を決定するのではなく、大気汚染や粉塵等を少しでも確実に処理することができる方式を検討する。
- ・コストと造りやすさで換気方式を縦流式にしているのではないかと懸念している。換気所の増設や、処理方法を再検討することで、他の地域からも流れてくる排気ガスの大気への影響や、地域へのしわ寄せの懸念を取り除くことができる。
- ・PM2.5を取り除く方法を検討してほしい。住民の健康を守って欲しい。
- ・換気所による大泉への粉塵の集中が懸念されるなか、コスト重視で処理方法を決定するのはないかという懸念がある。換気所に粉塵を効率的かつ確実に処理することができる方式を採用し、地域に粉塵の影響がないようにしてほしい。

### (3) 計画 (ジャンクション部)

#### 【意見のまとめ】

関越道からの出口を大泉インター付近に設けるなど、ジャンクション周辺地域の交通の利便性が高まるように。また、地下化や蓋掛けにより開削部分を小さくする事などにより、振動、騒音等の影響がないように。壁面緑化、防音壁の色調、素材等の検討等により、周辺地域の景観に配慮するとともに、街路照明による周辺環境への影響にも配慮を。

#### 交通

- ・現在不便なので、関越から目白通りへの降り口を大泉インター付近に設けてほしい。

#### 環境

- ・振動、騒音等の影響を心配している。開削部分をできる限り地下化することで、振動、騒音等への不安を少しでも軽減する。
- ・開削部分による騒音、排気ガスなどの問題解決の方法として、地下に外環を通す方法もあるのではないか。
- ・振動、騒音等の影響を心配している。開削部分に可能な限り蓋掛けをすることで、振動、騒音等への不安を少しでも軽減する。
- ・ジャンクションに緑を増やすよう最大限考慮して欲しい。
- ・防音壁の色調や素材、形状の工夫を望む。樹木で覆ったり、壁面緑化などの方法を期待する。
- ・夜の街路灯の明かりによる周辺環境への影響が懸念されるので、夜間の明るさにおける周辺環境への配慮を望む。

#### まちづくり

- ・地上利用部分の面積が広がると考えられるため、極力地上利用部分を増やしてほしい。
- ・開削方法を考え直してできる限り地下化してほしい。地下化することで、地域が分断されることによる影響や、振動、騒音等への負担を少しでも軽減することができる。
- ・開削部分による地域の分断の解決方法として、地下に外環を通す方法もあるのではないか。

### (4) 計画 (周辺部)

#### 【意見のまとめ】

もみじ山付近の側道のあり方の検討や、高速10号線を優先的に進めるなど、外環整備とあわせて地域の交通利便性が高まるように。また、白子川をはじめ周辺の自然環境への影響が抑えられるように。

#### 交通

- ・もみじ山付近で側道が迂回している部分について、一部対面交通になっている部分もあり、不便を感じているので、外環に添う形で側道をつなげて欲しい。
- ・今回の計画では、交通の利便性と安全性を踏まえた綿密な側道の検討を望む。
- ・都心に向かう交通の利便性を高めるほうが優先度が高いと考えられるため、高速10号線を優先的に造ってほしい。

#### 環境

- ・白子川には鮎がいる。きれいな川の水をできる限り残してほしい。

### (5) 工事

#### 【意見のまとめ】

工事車両の適切な運行管理を実施する等により、工事期間中に工事車両が及ぼす環境影響や安全性の低下に配慮を。地域住民の意向に配慮して。

#### 環境

- ・騒音や粉塵による身体への影響を心配している。騒音対策を行うことで、工事期間中の不満やストレスの軽減につなげることができる。

#### 工事中

- ・工事中、トンネル内の残土搬出について、粉塵や排気ガスが懸念されるため、大泉地域から集中させて搬出するのではなく、公平に他の地域に分散させて搬出してほしい。
- ・工事車両による地域への騒音や事故等が懸念される。工事車両の通行について一般道を通らないなどのルールづくりを周辺住民と相談し決めることで、工事期間中の騒音等による影響の低減や、事故の防止につなげることができる。

#### 計画検討の進め方

- ・工事中の地域への騒音や事故等が懸念される。事前に周辺住民と工事の時間帯を相談したり、工事車両の通行についてのルールづくりをすることで、工事期間中の騒音や事故等の防止や不安をなくしてほしい。

## (6) 調査

### 【意見のまとめ】

最新のデータやより詳細な調査により、地下水、大気質などの影響を詳細な把握を。また、平均値のデータではなく、地域で最も危険な状況を考慮し、広域的視野、かつ複合的な視点に立った調査を。

### 環境

- ・清掃工場の排気ガスの予測も加味した大気影響予想をお願いしたい。
- ・環境影響のデータを平均値で出してしまうことにより「人体への影響なし」とされてしまうことが心配であり、後々の人体への悪影響が懸念される。地域でもっとも危険な状況を考慮した、広域的視野、かつ複合的な視点に立った環境影響のシミュレーションを行うことで、きちんとした調査を行うことができる。

### 計画検討の進め方

- ・八の釜憩いの森の湧水への影響やその代替となる場所の可能性や地域の地下水にどの程度影響されるのかが懸念される。より詳細で具体的な調査を実施することで湧水や地下水について、より一歩進んだ具体策を講じ理解を得ることが重要である。
- ・古い交通量のデータが使用されていることにより、影響評価の信用度が懸念される。最新のデータを地域に出すことで、地域への交通負荷による影響等を軽減することの理解が得られると思われるので、最新データを公表し、その影響を説明する。

## (7) 管理

### 【意見のまとめ】

整備後に大気質に影響が生じた場合や人体に影響を及ぼした場合、行政が柔軟に対応できるように。

### 環境

- ・換気所設置後に排気ガスが計画通り処理されているか懸念される。設置後に、計画通りに排気ガスが処理されているのか、また周辺への影響が事前の調査通りであるのかの確認の実施を保証してほしい。
- ・事前に調査し、人体に影響がないと言われても、整備後に排気ガス等で体に何らかの問題が生じた時、またその可能性があった時、きちんと補償をしてもらえるのかとの懸念がある。整備後に人体への影響があった時、きちんと原因を調査し、改善した上で、医療費等の補償を行うことが重要である。

## (8) その他

### 【意見のまとめ】

換気所の高さ、換気方式、今後のスケジュールなど、住民の不安を払拭するための情報提供を。

### 環境

- ・換気所の計画地は周辺より低くなっており、換気所の高さが不十分ではないかと懸念している。換気所の高さ決定の根拠と周辺への影響、安全性を開示することで、換気所の高さに関する不安を取り除くことが重要である。
- ・びくに公園や白子川調整池に技術的に植樹が可能か知りたい。
- ・コスト重視の観点から縦流方式を採用しているのではないかと懸念している。大気汚染や粉塵等を少しでも確実に処理することができる方式を検討することで、コスト重視で処理方法を決定するのはないかという懸念をなくすことが重要である。

### 用地・補償

- ・生活設計の見通しを立てたいので、着工時期などのスケジュールを教えてください。

## Dグループ

### (1) 計画(換気所)

#### 【意見のまとめ】

脱硝装置設置などの検討や換気所の定期的なメンテナンスにより、良好な大気環境が確保されるように。建物や煙突を丸くしたり、地味な配色にする等のデザインを検討することで、風や地域の景観への影響が小さくなるように。

#### 環境

- ・換気所の性能についての詳細なデータを公開することで、換気所からの影響への不安を抑制できる。
- ・脱しょう装置をつけるなどにより、換気所からの窒素酸化物の排気をできるだけ減らしてほしい。
- ・換気所ができるとぜんそくが悪化するのではないかと心配。換気所の数を増やして排気による影響を低くしてほしい。
- ・換気所周辺の風害を減らすために、建物や煙突の角を丸くすべき。
- ・大泉ジャンクションの換気所は中央、東名と比較して窒素酸化物などの排気量が最も多い。中央ジャンクション以北に換気所を複数設置するなど、周辺住民の健康への影響をできるだけ減らしてほしい。
- ・換気所の高さによる景観への影響よりも、排気ガスによる健康への影響が心配である。30m以上の出来るだけ高い換気所を作り排気ガスをできるだけ遠くへ飛ばして拡散することで、大気への影響への不安を抑制できる。
- ・大泉の換気所の排気量の多さを心配している。大泉の換気所の排気量を減らすために十分な数の換気所を作ることで、大気への影響への不安を抑制できる。
- ・煙突の高さは可能な限り高くして、できるだけ遠くへ排気を飛ばして欲しい。
- ・換気所のフィルターはこまめにメンテナンスして、予定外に有害物質が排気されることがないようにしてほしい。
- ・換気所が1つしかないので故障したら地域に排気ガスがそのまま出てしまうことを心配している。換気所のメンテナンスやチェックを欠かさずに充分に行うことで、故障に対する不安を抑制できる。
- ・今の外環道の外装は色が目立ちすぎて地域の景観に溶け込んでいない。明度・彩度を低くし地味な配色にするなど、換気所や道路の外装のデザインに配慮することで地域の景観になじむようにすることができ

る。

### (2) 計画(環境施設帯)

#### 【意見のまとめ】

生活道路や橋の整備などにより、外環が整備されても地域や通学路の分断が生じないような活用を。また、移転なども含め、八の釜憩いの森の環境を残せるように。

#### 環境

- ・地域にとって大切な八の釜の森をできるだけ避けて、貴重な資源を残してほしい。
- ・八の釜の部分を高架にして、できるだけ残してほしい。
- ・八の釜憩いの森を今の場所に残そうとすると中途半端になるのではないかと心配している。今の場所にこだわって八の釜が不完全な形になるよりも、完全移転をしてきちんとした形で残すようにする。
- ・びくに公園に八の釜の森の代替えを作してほしい。

#### まちづくり

- ・開削部は出来る限り蓋をすることで、地域が望む生活道路や緑地を整備してほしい。外環の整備に合わせて地域が良くなることを期待している。
- ・環境施設帯など地上部がどのようなのか心配している。生活道路の整備や植樹をするなど、環境施設帯を有効活用してほしい。
- ・土支田通りは地域の生活道路として重要であるが一方通行となっている。側道を外環の両サイドにつけて、土支田通りの生活道路としての機能を充実させてほしい。
- ・地域に必要な生活道路を住民の意見を聞いて整備してほしい。ジャンクション南側部分で東西に分断される生活道路がきちんと整備されないのではないかと心配。
- ・掘割部による地域の分断を懸念している。掘割部の現在の道路の場所に道や橋を作ることで、地域分断を防ぐことができる。
- ・自治会・町会が分断されたり、泉新小学校、大泉東小学校、三原台中学校の通学路が分断されたりしないように、環境施設帯に生活道路を整備するなどしてほしい。

### (3) 計画(ジャンクション部)

#### 【意見のまとめ】

外環整備とあわせた電柱地中化、ジャンクション構造部を周辺地域と調和したデザインにする等、この地域の宝としてより良い景観の創出を。外壁を緑化すること等によりジャンクション部に熱がこもらないように。また、周辺の交通の利便性が高まるとともに、周辺の生活に影響が少なくなるようなジャンクション部に。

#### 交通

- ・大泉インター入り口に関越のインターチェンジを設置して、周辺の利便性が高まることを期待している。

#### 環境

- ・現大泉 JCT 周辺は熱がこもって気温が高いため、外環の外壁を緑化して温暖化対策をしてほしい。
- ・彩度を押さえるなど地域の普通の風景になじんだすばらしい景観デザインとして欲しい。
- ・日常生活で外環の構造物が目に入る視点場からの景観については、特に配慮した景観デザインとして地域の宝にして欲しい。
- ・きれいな景観になるようにしてほしいので、開削部の埋め戻しや蓋がけ部分は電柱を地下化して景観に配慮する。
- ・今の外環道の外装は色が目立ちすぎて地域の景観に溶け込んでいない。明度・彩度を低くし地味な配色にするなど、換気所や道路外装のデザインに配慮することで地域の景観になじむようにすることができる。

#### 用地・補償

- ・大泉街道の南側も移転になるのか。最高の技術を活用して、移転区域をできるだけ小さくしてほしい。

### (4) 計画(周辺部)

#### 【意見のまとめ】

新座インターチェンジに出入口を設ける、地上部の街路の整備をすすめる等により、周辺地域に過度の交通が集中しないように。

#### 交通

- ・目白通りの渋滞の緩和や周辺の生活道路の通貨交通を抑制するために、地上部の街路の整備により大泉街道に車が流れるようにしてほしい。
- ・地域の人々へのメリットを考えてほしい。関越新座料金所付近に出入口を作ることで、谷原まで行かないと関越を降りられない状況を解消でき、地域にメリットを及ぼすことができる。
- ・インター設置の負担の代償として、現在の周辺の通過交通による騒音低減のため、早期に関越新座料金所以東に ETC 専用の降り口を設置して欲しい。
- ・関越新座料金所以東にインターチェンジを設置して、外環のインターチェンジに乗るために増加する交通量分を減らしてほしい。
- ・インター設置の負担の代償として、現在の周辺の渋滞緩和のため、早期に関越新座料金所以東に ETC 専用の降り口を設置して欲しい。

## (5) その他

### 【意見のまとめ】

長期的な視点でこの地域に安心して住み続けることができるように。商売への影響が極力生じないように。また、計画に住民の意見が反映されるように。

#### 交通

- ・外環を利用する大泉の住民の利便性が高まることを期待している。地域に愛されるジャンクションとしてほしい。
- ・大泉ジャンクション周辺の住民にとって便利になることを期待しているので、外環が東名までつながってほしい。

#### 用地・補償

- ・計画線に面して商売している。外環の整備により商圈が変わり、商売に影響がある場合には移転などが必要になるが補償の対象になるのか心配している。商圈消失による移転補償とそれまでの売り上げを補償して欲しい。
- ・住宅への影響がわからず不安なので、詳細な計画線を公表し、補償などの説明をすることで、生活設計を進めることができる。
- ・開削部に接しているので商売が続けられるか不安だ。開削部に接している商売者への対処方法を知らせることで、不安を抑制することができる。
- ・掘割部が出来ることによって地域が分断されて商圈を消失してしまう。このような場合、代替地を用意してくれるのか心配している。開削部に接している商業者に対し代替地が保証されるのかを明らかにすることで不安を抑制することができる。
- ・詳しい計画が決まっても地権者に知らされていないのではないかと不安である。一部の建物がかかる場合、建物を残せるように計画線を配慮することで住民の生活への影響を減らすことができる。

#### 計画検討の進め方

- ・この計画は地域へのメリットがないのではないかと懸念している。作らないという選択肢を含めて検討してほしい。
- ・これまでにほとんどの意見は出ている。今さら色々決めても計画は変わらないのではないかと感じている。意見が計画に反映されることを明らかにしてほしい。

## (6) 工事

### 【意見のまとめ】

工事車両の運行時間の制限などにより、騒音への影響を少なくするとともに、登下校時間帯の児童の安全性が確保されるように。また、工事中の影響への対応について事前に情報提供を。

#### 工事中

- ・開削部に接している地域の人々は工事時に自宅に出入りできるのか心配している。開削部に接している地域の人々への対処方法を知らせることで、不安を抑制することができる。
- ・工事車両の通過時間を制限し、騒音による影響を少なくほしい。
- ・工事車両の通過時間を制限し、児童の登下校時の安全性を確保してほしい。

## E グループ

### (1) 計画 (換気所)

#### 【意見のまとめ】

周辺地域の健康被害を増大させないよう、換気方式を縦流方式から横流方式に変更するなど、見直しを検討すべき。  
故障時のリスク対応として分散させる。  
三原台の清掃工場計画も合わせた環境対策が必要である。

#### 環境

- ・換気所をつくれれば大気や健康への影響などが懸念される。換気所の見直し(分散など)を考えるべきだ。
- ・大泉ジャンクションの換気所により多くの排気ガスが集中することを懸念している。中央ジャンクションから大泉ジャンクションの約10km間の排気方法を中央環状線と同じ横流方式に変更し、1kmに1本程度の間隔で換気所を設けて排気ガスを分散してほしい。
- ・ジャンクション周辺への集中的な環境負荷の増大が懸念される。横流換気方式を採用することで、周辺地域の大気質への影響を最小限に抑えることができる。
- ・ジャンクション周辺地域は、これまで大気汚染による健康被害にあっているのに、さらにこの地域に集中することに非常に不満がある。どうしても外環をつくるなら、少しでも分散させるように、外環ノ2を整備し、横流換気方式に必要な複数の換気所を設置し、現在の一極集中の大気汚染を回避すべき。
- ・三原台に計画されている清掃工場と外環の換気所による複合汚染の発生が懸念される。清掃工場からの排気の影響を踏まえ、大気に影響が及ばないようにしてほしい。
- ・換気所からの排出ガスによる、大気汚染、健康被害が強く懸念されるので、換気所の性能等について、懸念が解消できる詳細な検討が必要である。
- ・換気所やトンネル坑口からの排気ガスの流出、ジャンクションやインターチェンジ、料金所における減速・加速による排気ガスの発生、三原台への清掃工場の建設など、複合的な大気汚染が発生することは確かであり、周辺の学校や通学する児童・生徒など住民への健康被害の増大が懸念される。換気所計画を白紙から検討することで、大気への影響への不安を抑制できる。
- ・トンネル坑口からの排気ガスの流出や料金所における減速・加速による排気ガスの発生により、周辺地域の大気質への影響が懸念される。排出ガスの大幅な削減が期待できるという具体的理由を説明してほしい。

い。また、埼玉外環の整備前、整備後、現在の交通量データを示して

- ・換気所のフィルターが詰まるのではないかと心配。リスクを減らすため換気所は分散させてほしい。

### (2) 計画 (環境施設帯)

#### 【意見のまとめ】

地域の財産である八の釜憩いの森や湧水を保全する最善策を検討すべき。代償施設については実現性を具体的に示した上で議論する。  
地域での利用施設を整備し、コミュニティの分断解消を図る。

#### 環境

- ・環境施設帯を有効利用し緑を増やすことが期待される。
- ・八の釜の総合的な環境を代償する施設の実現性について懸念している。現況では、湧水は八の釜憩いの森の豊かな緑沿いに流れているが、そうした総合的な環境をどのように再生させるのか、「湧水の代償として水源」はどのように確保するのか、どの水源を確保し、それをどのように流し、白子川まで導くのか、具体的に提示してほしい。武蔵野の雑木林の面影を有する3,620㎡の森の代償を何処にどのように作るのかを具体的に示すべきだ。
- ・八の釜憩いの森の代償施設について懸念している。計画線を固定的に考えたのでは地域の財産である八の釜憩いの森を現在のまま保全することは難しいと考えられるので、計画線を変更するなど発想を変えて検討する。
- ・八の釜憩いの森など貴重な自然が破壊されるのではないかと懸念している。外環の地下に外環道を整備すれば、自然への影響を最小限に抑えることが可能と考えられるため、視野を広げて代替案を検討する。
- ・地域の財産である八の釜憩いの森は何としても保全すべきだが、そのために計画変更が生じた際には、変更前および変更後の計画線にかかる住民に対して、住民が理解し納得できる説明が必要である。
- ・地下水流動保全工法により八の釜の湧水を保全できるのか懸念している。地下水流動保全工法について詳細に説明してほしい。圏央道八王子城跡トンネルにおける対応策の状況を説明してほしい。過去の事例から、大泉地域においても問題が生じないとする具体的根拠を説明してほしい。
- ・八の釜憩いの森の代償施設として大泉橋戸公園や覆蓋部を利用することには無理があり、代償施設の実現性について疑問を抱いている。地下水脈等の水みちの詳細な調査を行わずに代償施設の可能性に言及する理由と根拠を説明してほしい。また、アセスで求められている住民

参加型の議論の場が設けられているのかについて説明してほしい。

#### まちづくり

- ・外環ができると地域のコミュニティが分断されることを懸念している。コミュニティが分断されないようにするために、環境施設帯にミニ集会所や公共施設をつくってほしい。

### (3) 調査

#### 【意見のまとめ】

**大気質による健康被害が増大しないよう、長期にわたる健康への影響を検証する。地盤、湧水、生態系などの現状調査を十分行う。調査、検証は継続的に行い、内容は市民に情報開示する。**

#### 環境

- ・計画の根拠となっている基準に対し疑問がある。大気汚染による健康被害などは、複合的に、かつ長期にわたることで問題が起こるはず。長年暮らしても健康に影響がないという検証を、市民が理解し納得できるように示してほしい。
- ・周辺地域の地盤沈下が強く懸念される。十分な地盤調査と湧水調査を行うことで、外環の整備が地盤に与える影響を把握することができる。
- ・八の釜憩いの森の湧水の消失が強く懸念される。十分な地盤調査と湧水調査を行い外環の整備が湧水に与える影響を把握する。

#### 計画検討の進め方

- ・これほど湧水が豊富な地盤にトンネルを掘る訳だから、現状を知る意味で十分な地盤調査を行ってほしい。ボーリング調査はどの程度行っているのか知りたい。
- ・湧水や地盤への影響が心配である。地盤調査・湧水調査をしっかりと行って欲しい。

### (4) 計画(周辺部)

#### 【意見のまとめ】

**地域への通過交通流入による渋滞、排気ガス、騒音などの環境悪化、安全性の低下が生じない交通対策を講じる。**

#### 交通

- ・ジャンクションができて交通渋滞は緩和されず、抜け道となっている生活道路にさらに車が増えるのではないかと。生活道路に通過交通が流入しないような対策を望んでいる。
- ・生活道路へ通過交通が流入し、大気質や騒音、安全性の悪化が懸念される。通過交通が地域へ流入しない工夫を検討することで、地域への大気質や騒音、安全面の悪影響を抑制することができる。
- ・首都高速10号線が開通すると、目白通りインターチェンジにさらに交通量が集中することが懸念される。交通量の集中を防ぐために首都高速10号線を作らないようにしてほしい。

#### 環境

- ・外環の整備により交通量が集中することで周辺地域の気候への影響が懸念される。交通量の集中を防ぎ地域の気候に影響がないようにしてほしい。

## (5) 工事

### 【意見のまとめ】

工事中も地域の良好な生活環境が保たれるよう、搬出残土や粉塵などへの対策を行う。工事中も生活道路の機能を確保する。西武池袋線の連続立体交差事業など、他の工事と時期が重なった場合、地域の交通対策を行う。

### 工事中

- ・外環道整備と西武池袋線の連続立体交差事業の事業時期が重なると、工事車両の流入により、交通渋滞や生活環境への影響が大きくなることが心配。工事中の工事車両による影響を十分に考慮した監理をお願いしたい。
- ・工事期間中の生活道路機能の確保について懸念している。工事期間中も生活道路の機能が確保されるようにしてほしい。
- ・地下の掘削工事が出た残土の搬出については、地域に対し配慮が必要。
- ・工事に伴う粉塵の発生など地域への影響が懸念される。地域の環境に影響が生じないような残土搬出方法を検討してほしい。

## (6) 計画(トンネル部)

### 【意見のまとめ】

ジャンクション部に集中する排気ガスへの影響が抑えられるように。

### 環境

- ・ジャンクション周辺地域は、これまでも大気汚染による健康被害にあっているのに、さらにこの地域に集中することに非常に不満がある。外環ノ2の計画があるのなら、外環もそのまま高架でつくり、大気汚染の分散化を図れるほうがよい。換気所もつくらなくてよいし、わざわざ地下構造にして1カ所で排気する必要性はないのではないか。

## (7) その他

### 【意見のまとめ】

換気所の性能、八の釜憩いの森の保全・代償措置、交通量の変化、外環ノ2の計画、首都高10号線の計画、トンネル部の安全確保、地下水への影響など、地域の心配ごとに対し、市民が理解し納得できる的確な情報開示・提供を行う。地権者や地域利用者等に対して情報開示・提供し、意向を把握しながら進める。

### 交通

- ・1985年に練馬区長は埼玉外環の開通が谷原交差点の交通対策の一環となると発言しているが、逆に交通量が増えているように感じられるので、外環の整備がさらに交通量を増加させるのではないかと懸念している。埼玉外環開通時と現在の交通量等をきちんと比較し、区長の過去の言及をきちんと実証することで、住民の懸念が払拭することができる。

### 環境

- ・地下水流動保全技術に関する研究委員会の2006年「講習テキスト」には「地下水浸透が一樣でない」「涵養施設での目詰まり問題」「施設の恒久的維持管理問題・目詰まり、逆洗問題への対応」といった問題点が記載されている。また、環八井荻立体化工事に関して、「はじめ止水性の土留め壁で施工するが、井戸水濁りや井戸枯渇を生じる」「地下水回復は多少認められたが広域的な地下水位の回復は十分ではない」「通水効率の改善の必要あり」「集排水管の目詰まり」との指摘がある。過去の大規模工事事例では複数の問題点が指摘されており、大泉地域の外環道整備においても、周辺地域における地下水脈の変化などに問題が生じることが懸念される。問題が生じないとする具体的根拠を説明してほしい。

### 安心・安全

- ・大深度地下トンネルの安全性に疑問を抱いている。想定外の地震などへの対応策を含めてきちんとした情報提供を行うことで、地域住民の不安は解消されると考えられる。

### 工事中

- ・工事車両による排気ガス等による環境への影響が懸念される。工事車両が通るルートをおらかじめ地域住民に示すことで、工事車両の排気ガス等に対する不安を抑制する。
- ・工事期間中の工事車両による排気ガス等に対する懸念がある。工事業者の実態(燃料や材料費の高騰による経費削減の実施など)を踏まえて工事車両の運行計画を立て、工事車両が通るルートをおらかじめ地域住民に示すことで、懸念を払拭することができる。

## 計画検討の進め方

- ・外環ノ2の計画検討スケジュールが明らかでないことについて懸念している。いずれ外環ノ2が整備されるのであれば、今回の外環道の検討とあわせて外環ノ2についても検討することが効率的である。
- ・首都高速10号線が整備されれば外環道の必要性は低くなるのではないか。首都高速10号線の計画を踏まえ、外環の必要性を明らかにしてほしい。
- ・外環の必要性について疑念を抱いている。現在の外環計画は将来の交通量を過大に算定していると思われるため、モーダルシフト（自動車等による輸送を鉄道や船舶による輸送で代替すること）の進展などを見据えて外環の必要性を再検討する。
- ・外環ノ2の計画検討スケジュールが明らかでないことについて懸念を抱いている。外環ノ2と外環の一体的な整備について検討し、交通量の分担や換気機能の算定などの面において、効率的な整備を行うことができる。
- ・外環ノ2の計画検討スケジュールが明らかでないことについて懸念している。いずれ外環ノ2が整備されるのであれば、今回の外環道の検討とあわせて外環ノ2についても検討することが効率的である。
- ・外環整備により周辺道路の交通量が減少するとの説明に疑問を抱いている。ジャンクション周辺地区で「面的整備の推進」「商業、流通施設の設置検討」をすれば大型車を含め車が集まってくる。三環状道路の既設区間と周辺道路の交通量変化を見てみると三環状すべてにおいて、並行道路ではほとんど変化がないか増加し、放射道路では増加している。また、既設区間を検証しても誘発交通により効果はみられない。まして外環は無料の環八のすぐ近くに計画されており、高速道路間の通過交通が多少外環に移ったとしても、環八には相変わらず車が集まる事が予測される。このようなことを踏まえ、外環整備により周辺道路の交通量が減少することを明らかにしてほしい。
- ・具体的な検討を進めるためには地権者の意見を聴くことが不可欠である。このため、オープンハウスなどで実施されているのかもしれないが、地権者の意見を吸い上げる場を設ける。
- ・地域の合意を得るためには地域住民への十分な情報提供が不可欠と考えられるため、地域各戸へ外環道計画の詳細なお知らせなどの広報を十分に実施する。
- ・現状を住民が知らないことが問題。地域住民への十分な情報の提供を期待している。
- ・情報が恣意的に操作されて伝えられているという疑念を抱いている。都合の良い情報だけでなく公正な情報提供をしてほしい。

## F グループ

### (1) 工事

#### 【意見のまとめ】

工事中のほこりや排気ガスなどの環境影響、工事車両による大気、振動などの環境影響や事故が心配。工事期間等、工事やその影響などに関して適切な情報提供をしてほしい。

#### 工事中

- ・外環建設にあたって、各区間でどれ位の期間、工事をするようになるのか、生活にどの程度影響があるのかを教えて欲しい。
- ・工事中の車両が増えると、渋滞や騒音が多くなるのではないかと不安であるので、交通量や大型車による事故・振動などに配慮してもらおうとともに、早い段階で配慮する旨を地域に説明して欲しい。
- ・工事車両のルートになるところはほこりや排気ガスが心配。地域の環境に影響が及ばないようにしてほしい。
- ・工事車両が関越道を利用することで関越道が渋滞し、周辺の大気などに影響が生じることが心配。工事車両により渋滞が発生しないようにしてほしい。
- ・工事車両が通る道の沿道住民は、工事が生活にどの程度の影響があるのかわからないので不安を感じている。工事中、どれだけ土を掘り、1日何台のダンプがどこを通るのが予測できるような説明を行うことで、不安を抑制する。

### (2) 調査

#### 【意見のまとめ】

排気ガスの影響が、地形条件や風力、風向、風速などによってどのように影響するかを見極めるため、詳細で継続的（今～完成後）な定点観測を行ってほしい。

#### 環境

- ・大気への影響について何年か継続して風や地形の状況による影響を踏まえ調査をしてほしい。季節ごとの風力、風向、風速を加味して科学的な根拠をもって計画を検討してほしい。
- ・大泉は高低差がある。大気への影響の予測の値は平らな地域での一般的な数値をとっているのではないかと、地域の実情とそぐわないのではないかと不安に思う。現地形や風向き等を加味したデータを出して欲しい。出している場合は、どの程度地域の状況を加味したものであるか説明をして欲しい。
- ・外環完成後の環境への影響を把握し、速やかな対応が出来るよう、今から定点観測を始めて欲しい。風の状況・風速・風向き・天気・各時期ごとの大気の状態等のデータを収集して欲しいがそのような事はしているのか、またする予定はあるのか教えて欲しい。
- ・住民が大泉ジャンクションが出来る前から現在までとりためてきたデータがあり、変化を記録している。国でもそういった経年変化のデータがあれば示し、今後の影響予測を示して欲しい。

### (3) 計画 (換気所)

#### 【意見のまとめ】

換気所を分散設置したり、高さや換気計画等の検討により、周辺地域の空気を汚さず、健康被害に結びつかない計画案を示してほしい。

#### 環境

- ・換気所の高さの検討にあたっては、美観対策もあるかと思うが、景観への配慮よりも、くぼ地にある地域としては、悪い空気がたまることによる人命への影響が心配である。美観対策により安全対策が制限されるようなことが無いが、不安に感じている。
- ・排気ガスが大泉に集まり健康被害が出ることを心配している。換気所を分散させることで、大気への影響への不安を抑制できる。
- ・換気所は地形的に周辺よりも低い位置にあり、30mの高さでは足りないのではないかと心配している。換気所の高さをあげることで、周辺地域への大気の影響が少なくなるようにしてほしい。

### (4) 計画 (周辺部)

#### 【意見のまとめ】

交通ネットワークの中で、どのように周辺の交通渋滞の課題を解決していくのかを検討して示してほしい。

#### 交通

- ・外環ができるとインターチェンジ利用者が増えることによる誘発交通、地域生活道路への車の流入が心配である。今回の計画によって谷原交差点の渋滞の解消など、地域の交通問題を解消してほしい。
- ・以前に外環ができたときに谷原交差点などの渋滞が解消すると言われていたが問題が解決していない。今回も問題が持ち越されるのではないかと心配。今回の計画によって谷原交差点の渋滞の解消など、地域の交通問題を解消してほしい。

### (5) 計画 (環境施設帯)

#### 【意見のまとめ】

八の釜の自然をどのくらい保全できる計画が立てられるのか。また、環境施設帯の利用計画案を示してほしい。

#### 環境

- ・八の釜憩いの森の斜面林や天然記念物の復元は出来ないと思うので、今のまま保全するために、路線をずらすような工夫をすることは出来ないのか。

#### まちづくり

- ・緑地(地上の部分)の使いみちが伝わってこない。子どもの遊び場に開放できないかと思うが、可能性はあるのか、条件や想定があれば教えて欲しい。

## (6) その他

### 【意見のまとめ】

換気処理、八の釜への対応、交通量、工事による影響などの地域が知りたい情報が入手できるようにしてほしい。周辺の住民がもっと関心を高めるような情報発信が必要。

#### 環境

- ・排気ガスによる橋戸小学校の生徒への影響が心配。大気に関する影響の予測について詳しく説明してほしい。
- ・換気所の高さが30メートルでは、地形の高い地区では目の前に排気口が位置するようになるので、換気所の高さが十分なのかどうか懸念している。観測ポイントを設定して風向・風速を1年間調査し、それを元に排気所の高さについて30mだけでなく、40m、50mの時の大気質への影響や、換気所から100m吹き上げた空気の散らばり方について予測し、メリットとデメリットを比較検討することで、換気所の高さに関する不安を抑制することができる。
- ・換気所について、最新の機能が装備されるといっても理解しにくいので、実際に動いている他の事例を皆で見に行くと体感できると多少安心できるかもしれない。
- ・換気所の排気ガスの処理能力が十分かどうか心配している。換気所の縦流式、横流式のメリット、デメリットが分かる資料を出し、また、模型を作って比較検討できるようにすることで、換気所の処理能力への不安を抑制することができる。
- ・換気所の排気ガスの処理能力が十分かどうかを心配している。縦流式の実例の情報提供や、実際に縦流式の実例見学を行い、これを踏まえて、換気所の方式がどちらの方式が良いか比較検討することで、換気所の処理能力への不安を抑制することができる。

#### 用地・補償

- ・事業化される前に、外環予定地の地権者に十分な説明会を開いてほしい。

#### 計画検討の進め方

- ・道路より福祉に予算をかけた方が経済効果があるという。そもそもの道路の必要性について議論したい。
- ・予測だけでなく現実の状況を見て計画を検討してほしい。世の中の状況変化を踏まえていないのではないか。現状を踏まえて議論すれば車台数などが減り将来的に道路が必要なくなるのではないか。このようなことを根本的な問題として捉え、将来の状況の変化を踏まえて外環の必要性を明らかにしてほしい。
- ・外環により地域全体の交通量がどう変わるのか、車の動きについて、

広域の交通網の中で予測したデータを示してほしい。

- ・交通量のデータは、増える分、減る分両方あり、判断が難しいので、交通が便利になることにより、まちづくりや開発がどのように進み、生活がどのように変わるかを示してもらい、その影響を加味した交通量を算出してほしい。
- ・緩衝緑地や歩道の配置なども生活圏に影響があるので、実際に利用する地域で使い勝手を考え、提案できる機会を設けてほしい。
- ・これまで何度も市民は意見を出しているがきちんとした回答がない。八の釜について、都計審の意見に対応してほしい。また、都計審への対応についてきちんと説明してほしい。
- ・町会など地域への情報提供が十分でないことに懸念がある。地域住民が外環の計画についてよくわかっていないので、良いことばかりでなく、また、判断材料になるような情報を盛り込んで、検討会だよりを全戸配布するなどして情報の周知をはかってほしい。
- ・地域住民へのPRを十分してほしい。今回の検討会にとどまらず今後も広くPRを進めることを期待している。

## Gグループ

### (1) 調査

#### 【意見のまとめ】

大気環境の悪化にともなう健康被害が生じないようにするためにも、地域の大気環境の状況を随時把握できるように。

#### 環境

- ・季節や気候によって、空気の流れの状況が異なると考えられるので、大気汚染の調査を四季折々やってほしい。特に遮音壁が何層にもなることで空気の流れが悪くなるのが懸念されるので、その影響も調査してほしい。
- ・練馬区の学校の先生が調査した結果、幹線道路沿いでぜん息患者が多いとのことであり、外環による大気汚染に伴う健康被害を心配している。行政が健康被害の状況を調査することで、対策を検討するための基本である大泉地域における実態を把握することができる。
- ・大気汚染の実態が分からず心配なので、SO<sub>2</sub>（二酸化硫黄）、NO<sub>x</sub>、CO、ベンゼン、浮遊粒子状物（SPM）、ダイオキシンなどの排出調査を毎月定点で観測して、住民に対して説明できるようにしてほしい。

### (2) 計画（換気所）

#### 【意見のまとめ】

換気方式の変更や換気所の分散設置の検討などにより、この地域に排気ガスが集中して周辺住民に健康被害が及ばないように。

#### 環境

- ・大泉地域に排気ガスの影響が集中することを懸念している。換気方式を縦流方式から横流方式にすることで、換気所を増やし大泉地域に集中して排出される排気ガスを分散させることができる。
- ・排気ガスによる大気への影響を心配している。換気所を増やすことで、大泉地域への排気ガスの影響を分散し軽減することができる。
- ・排気ガスについて大泉北小学校でPTAの人達が定点調査をしている。その結果では、現在の二酸化窒素は基準値ギリギリ(0.055～0.060ppm)の状況であるが、さらに外環ができれば、換気所から排出される二酸化窒素(0.049ppm)がこの現状の値に追加されることになり基準値を超えることを懸念している。換気所により地域の大気に影響が及ばないようにしてほしい。

- ・都・環境評価書(平成18年)によると、NO<sub>x</sub>は東名JCTでは139、中央JCTが44、青梅街道ICが10.5、大泉JCT234.6である。風致地区に指定されているのに、大泉のNO<sub>x</sub>の排出量が他の地域に比較して非常に多く、他の地上部に比較して不公平であることを懸念している。大泉への排気ガスの排出量を少なくしてほしい。

#### 安心・安全

- ・事故が起こったときに避難に使える確率が高くなるので、換気所の数を増やすことは考えられないか。

### (3) 計画（環境施設帯）

#### 【意見のまとめ】

八の釜憩いの森の代償など、緑と自然豊かな空間の確保を。また、両側に自由に行き来ができるように。

#### 環境

- ・八の釜憩いの森の喪失が懸念される。環境施設帯を緑が豊かな自然公園のように整備し、その中で八の釜の復元を行うことで、現状の八の釜憩いの森の代替施設を整備する。

#### まちづくり

- ・環境施設帯を緑が豊かな自然公園のように整備することで、あわせて計画地の両側の人達が自由に行き来できるようにする。

### (4) 計画（ジャンクション部）

#### 【意見のまとめ】

料金所での渋滞をなくすために料金所を設けないなど、周辺地域への大気質への影響が極力小さくなるように。路面の素材の検討など、路面から生じる騒音が小さくなるように。

#### 環境

- ・換気所に加え料金所という大気に影響を及ぼす施設がこの地域に出来ることを懸念している。料金所を無くすことで、大気に影響を及ぼす施設が大泉に集中する状況を変え不安を抑制することができる。
- ・現在、付近の高速道路で、暑い日にはアスファルトが溶けてタイヤとの摩擦の音が聞こえる。外環が建設されるとこの音が大きくなる懸念があるので、路面の素材を検討、改良してほしい。

## (5) 計画(周辺部)

### 【意見のまとめ】

ジャンクション付近の道路の計画を検討することで、高齢者がより移動しやすくなるような配慮を。

#### まちづくり

- ・ジャンクション付近の道路が広すぎて、徒歩で信号が青の間に渡りきれない。高齢者に優しいとはいえないので計画の中で考慮できないものか。

## (6) 計画(トンネル部)

### 【意見のまとめ】

地上部の大気質への影響は極力小さくなるように。

#### 環境

- ・換気所による大気汚染の問題が懸念される。用地買収など別の問題が発生するが、外環を高架方式にすることで大泉地域に集中する排気ガスを分散させることができる。

## (7) 工事

### 【意見のまとめ】

工事期間中にも地下水への影響が生じないように。

#### 工事中

- ・工事期間は10年と長期に及ぶが、この間は深層地下水の流れが断たれることになるのではないかと懸念している。大深度地下の工事はこれまでに例がないのに、どのように対応するのか。長期に渡る工事期間中も深層地下水に影響が無いようにしてほしい。

## (8) 管理

### 【意見のまとめ】

整備後にも流入規制など様々な対策を講じる等により、大気への影響が生じないように。

#### 環境

- ・排気ガスによる大気汚染を懸念している。トラックの環八への流入規制や環境対策(電気自動車 etc.)などを先行して行うなど、自動車交通による排気ガスの排出自体を軽減する対策を実施することで、大気への影響への不安を抑制することができる。

## (9) その他

### 【意見のまとめ】

トンネル内における事故や火災時の対応方法や、大気環境への影響などの情報が入手できるように。

#### 交通

- ・外環が東名まで早くつながることを期待しているため、外環工事の建設手続きを迅速にしてほしい。

#### 環境

- ・地域の大气汚染の実態が不明であることを懸念している。関越自動車道の整備に伴うNOxの定点観測のデータを公表することで、外環の大气汚染への影響を検討する際に基本となる、地域の大气汚染の実態を明らかにすることができる。
- ・地域の大气汚染の実態が不明であることを懸念している。大泉北小学校のPTAによる定点調査の結果など、地域の大气汚染の実態に関するデータを公表することで、外環の大气汚染への影響を検討する際に基本となる、地域の大气汚染の実態を明らかにすることができる。
- ・外環の換気方式が縦流式とされ、その結果、大泉地域に排気ガスが集中して排出されることを懸念している。換気方式(横流式、縦流式)について専門家を呼んで説明してもらったり、事例を見学するなどして理解を深めることで、大気への影響への不安に思う原因をより明確にすることができる。
- ・換気所が出来ることによる大気への影響を懸念している。なぜ、外環にはトンネルの出入り口以外に換気所が作れないのか、という不信感がある。外環にはトンネルの出入り口以外に換気所が作れない理由を説明することで、不信感を抱く原因をより明確にすることができる。

#### 安全・安心

- ・トンネル内の事故、特に渋滞時の火災への対応について心配している。トンネル内で事故や火災が発生した際の対応を具体的に説明することで、ト

#### 計画検討の進め方

ンネル内の事故や火災への不安に思う原因をより明確にする。

- ・外環の問題だけでなく、「車の利用そのものを減らす」という根本的、社会的な方策を考えるべきだ。
- ・地元への影響だけでなく、東京全体の交通計画についても考える必要がある。
- ・古いデータに基づく交通量の予測値の信頼性を懸念している。最新のデータにより交通量を予測し、計画の前提となるデータの信頼性を高める。

## Hグループ

### (1) 計画(周辺部)

#### 【意見のまとめ】

外環整備に合わせた幹線道路の整備や、関越道を首都高までつないで地域に用のない車を通過させること等により、地域の渋滞緩和や交通安全性の向上につながるように。また、八の釜の自然環境は移転による保全・活用を。

#### 交通

- ・大泉地区は目白通りなどで既に交通が混雑しており、外環整備をしても渋滞解消につながらないのではないかと心配している。外環整備に合わせて、以下の幹線道路の整備を行い、渋滞を解消してほしい。
  1. 目白通りの北園交差点から以西の延伸
  2. 大泉街道の拡幅
  3. 土支田通りの三原台中学校以南の拡幅
  4. 石神井公園通りの拡幅
  5. 大泉通り下屋敷交差点から前原交差点までの延伸
- ・大泉地区は関越道と外環道の終点であり、高速道路を乗り降りする車で渋滞が発生していることを懸念している。外環整備だけでなく、練馬インターチェンジから以東の都心方面につながる首都高10号線を整備し、この地区に用のない車は通過するようにしてほしい。
- ・インターチェンジの出入口が目白通りにできると、現在の三叉路から四つ角になり、ますます渋滞するのではないかと心配している。目白通りの交通量に影響がないようにしてほしい。
- ・新橋戸橋の通りは、目白通りの混雑時に抜け道に利用する車が多い。外環整備後に目白通りが混雑すると、抜け道利用の交通量がさらに増えるのではないかと心配しており、影響が出ないようにしてほしい。

#### 環境

- ・八の釜憩いの森公園は、周辺の河川や緑道などの自然環境を整備するうえで要となる資源であり、失われるのが心配なので、すり鉢状のびくに公園に蓋かけをして湧水を移転させるなど、八の釜の持つ自然の役割を保全・活用してほしい。

#### まちづくり

- ・大泉町5丁目は陸の孤島なので、交通利便性を高めるため公共交通網の充実を望む。

#### 安心・安全

- ・東映通りなどの地域の生活道路で、歩行や自転車通行が危険な状況なので、生活道路の安全性を確保してほしい。

### (2) 計画(ジャンクション部)

#### 【意見のまとめ】

排ガス公害の元になる出入り口渋滞などの影響を低減するように。周辺地域の景観に配慮してジャンクション構造が殺風景にならないように。大通りを横断する歩行者が安全で円滑に移動できるように。

#### 環境

- ・インターチェンジの出入口で渋滞が起こり、排ガス公害の元になっている。外環開通後は利用する車が増えて、ますます大気汚染が進むのではないかと心配しており、影響が大きくならないようにしてほしい。
- ・関越道と外環道の現在のジャンクション構造物は、車優先の設計思想で殺風景である。周辺環境と調和するような植栽など、ジャンクション構造物が殺風景にならないように配慮してほしい。

#### まちづくり

- ・目白通りインターチェンジの交差点部分は横断が困難である。大泉インター入口の交差点は交通量がますます多くなり、通りの横断が不便になるのではないかと心配している。特に目白通りには、歩行者用の地下道などを整備し、安全で円滑に横断できるようにしてほしい。

### (3) 計画(換気所)

#### 【意見のまとめ】

インターチェンジやジャンクションのない地域に配分することや、最新技術の浄化装置を採用するなど、換気所からの大気汚染に関する不安を取り除くように。また、植栽などにより景観に配慮を。

#### 環境

- ・大泉地区の換気所は、中央ジャンクションから大泉ジャンクションまでの地下部分の排気ガスが集中することになる。換気所から地上 80 mまで吹き上げて排気ガスを分散させると説明されているが、大気汚染が心配である。外環沿線全体での負担の公平性を考慮して、インターチェンジやジャンクションのない地域に配分することを望む。
- ・換気所が無機質な建物になり景観への影響が心配なので、低い所に植栽を施すなどの工夫を望む。

#### 計画検討の進め方

- ・渋谷道玄坂で大橋ループ橋の排気所を視察したが、排気が目に見えて噴出している様子はなかった。大泉の換気所も同様の工夫を取り入れて欲しい。換気所に最新の技術による浄化装置を採用して、大気汚染に関する不安を少しでも取り除くことが重要である。

### (4) 計画(トンネル部)

#### 【意見のまとめ】

災害や事故時の避難経路を追加で確保しトンネル部の安全性を高めるとともに、換気所の負担を沿線全体に分散し、大気への影響が抑えられるように。

#### 安心・安全

- ・外環本線のトンネル内の事故や災害時の備えを心配している。現案では地上部まで徒歩で避難する計画だが、距離が長いので、外環本線に 1km 間隔で避難路を整備して、利用者の安全性を高めてほしい。あわせて換気所を設置し、換気所の負担を沿線全体に分散させてほしい。

### (5) 計画(環境施設帯)

#### 【意見のまとめ】

地域の幹線道路の代替機能の確保や生活道路が行き止まりにならないように。

#### まちづくり

- ・計画地との境界部分が行止まり道路になるのではないかと心配している。目白通りから大泉街道をつなぐ計画道路を、外環の既共用区間のように、中央を緑地帯にしてその両側を車道、歩道の順に整備するなど、行止まり道路にならないようにしてほしい。
- ・付き合いが多い地域との道路が分断される計画になっており、交通が不便になることを心配している。環境施設帯を活用して、東西方向の道路機能を残し、地域が分断され交通が不便にならないようにしてほしい。

### (6) 調査

#### 【意見のまとめ】

天候による変動や地形の特性を踏まえた定点観測等により、大気への影響が基準を上回らないように。

#### 環境

- ・大泉北小学校で大気質の定点観測をしているが、雨の日など天候によって数値が高くなることや、大泉北中学校入口のバス停など場所によって数値が高いところもある。場所や天候により大気汚染の数値が変化することを踏まえて、定点観測を続け、大気への影響が基準を上回らないようにしてほしい。

## (7) 工事

### 【意見のまとめ】

工事計画を業者任せにせず行政が監視し、責任ある対応を。工事車両の専用道路の確保など安全面からの配慮を。生活道路の安全で円滑な通行の確保を。

### 工事中

- ・工事関係車両が生活道路に入り込むのではないかと心配している。工事車両が周辺の交通渋滞や交通安全に影響を与えないように、工事計画を業者任せにしないで、行政が周辺の生活環境を保全するところまで監視して欲しい。
- ・外環本線の工事の前に、工事車両の専用道路を仮工事して、工事車両が周辺の交通渋滞や交通安全に影響を与えないようにすることが重要である。
- ・工事中の生活道路の分断や周辺交通の混乱を心配している。迂回道路などを分かりやすく示すサイン計画などで、交通混乱を抑制してほしい。
- ・前面道路が計画地に含まれており、工事が始まると建物への出入りが出来なくなるのではないかと不安なので、通行路を確保してほしい。

## (8) その他

### 【意見のまとめ】

計画内容や移転・補償などについて、地域住民が常に相談できる体制を。

### 用地・補償

- ・計画地に係る地権者は、自分の土地や家屋がどうなるのかを心配している。事業化前の今の段階から、地権者に対して測量や用地買収の時期、工事日程などの説明会を始めるなど、住民の不安を取り除くための取組みをしてほしい。
- ・計画地の近くに住んでおり、今後、測量などを実施した段階で、計画線が変更になり、用地に含まれることになるのではないかと心配している。早く測量を実施して欲しい。
- ・地下15～30mの水脈に当る井戸水を生活に利用しており、外環工事で地下水が涸れたり水質が悪化するのではないかと心配している。地下水が生活水に適さなくなる場合の補償などの説明をしてほしい。

### 計画検討の進め方

- ・練馬のオープンハウスに現段階から職員を常駐させて、周辺住民がいつでも相談できる体制とすることで、周辺住民の事業に対する不安感や行政に対する不信感を取り除き、計画内容の充実や円滑な事業推進につなげてほしい。

## I グループ

### (1) 計画 (環境施設帯)

#### 【意見のまとめ】

現在の水脈を活かしながら清水と森のある緑地帯を創出し、地域住民が交流できるような場づくりを。さらに、生活道路の確保により地域が分断されないように。

#### 交通

- ・大泉街道と目白通りとを結ぶ計画の地上部の道路は、地域の生活道路ではなく通過交通のための道路になるのではないかと心配である。地域の生活道路としてほしい。

#### 環境

- ・この地域には緑地が少ないことを懸念している。この機会に八の釜に代わるしっかりとした緑地帯をインターチェンジに投入するのと同様の費用をかけて作り、住民の憩いの場所を創出することで、現在少ない地区内の緑地を増やすことができる。
- ・いずれは八の釜の湧水が枯れてしまうことを懸念している。現状の水脈を移転先でも活用して八の釜の水を保存することで、現在の場所ではいずれは枯れてしまう湧水を新たな場所で守ることができる。
- ・いずれは八の釜の湧水が枯れてしまうことを懸念している。八の釜に代わる立派な緑地を作ることで、現在の場所ではいずれは枯れてしまう湧水を新たな場所で守ることができる。
- ・調整池建設の影響を受けて、現在八の釜の湧水量が減少していると懸念している。調整池の整備が八の釜の湧水量に影響がないようにしてほしい。
- ・八の釜憩いの森内にはゲートボール場がある。地域で活用されている場所が、なくなることへの懸念がある。ゲートボール場を確保してほしい。
- ・昔の八の釜は湧水量も多かったが、現在は湧水量が減少しており、いずれ湧水も枯れるだろう。住民には八の釜に対する想いがあるが、現在地での八の釜の維持は困難である。また現在の八の釜は、囲いがあり入れる場所が制限されて、神経質な感じがし、遊ぶ子供も神経質になりそうだ。この機会に八の釜に変わるしっかりとした緑地帯をインターチェンジに投入するのと同様の費用をかけて作り、住民の憩いの場所を創出することで、現在の場所ではいずれは枯れてしまう湧水を新たな場所で守ることができる。
- ・八の釜を移転した場合、移転先での湧水をどうするのか問題であるが、移転先で水脈を活かしても貴重な八の釜を残すということにならないと懸念している。八の釜は他の場所に移転せず、今の場所に残し

たい。

- ・八の釜の水は天然水であり、移転先でも天然水を使うことを期待する。八の釜の湧水量が減少しているので、現在の水脈を保存することで、八の釜の移転先でも天然水を湧水として使うことができる。
- ・外環の既供用区間の整備で大事なことは、上部に緑地帯が出来たことよりも、両側に大きな側道と遊歩道ができたことである。そのことを考慮して検討すべきである。
- ・現在、計画地を東西方向に横断する道路は、今後どのようになるのか心配である。買い物に使っている現状の道路が使えないのは困る。現状のアクセス道路は確保して欲しい。東西道路のある今の間隔がちょうどよい。
- ・外環ができることで、商店街への影響が心配。地域分断が生じないように生活道路を確保してほしい。
- ・外環整備による地域の分断を懸念している。環境施設帯に、分断された地域を結びつけ、地域住民が交流出来るような公的な施設を建設することで、地域分断へ対応できる。

#### まちづくり

### (2) 計画 (ジャンクション部)

#### 【意見のまとめ】

八の釜の移転を前提としない線形や構造の変更により、八の釜の豊かな環境が保全されるように。

#### 環境

- ・道路が八の釜を通る案であることへの懸念がある。ランプの線形を修正して、八の釜付近に道路線形がかからない案を検討する必要もある。
- ・行政側も今日の参加者も八の釜の移転を前提として検討しているが、八の釜の移転を前提として検討することを懸念している。三郷側の遠くから本線をトンネル化するなどジャンクションの構造を見直すことで、八の釜の移転を前提とせず、八の釜を守るための方策を検討することができる。
- ・自然遺産とも言うべき八の釜の湧水を守れるのか。水脈が断ち切られるという懸念がある。本線を三郷側の遠くからトンネルにして湧水の水脈に少しでも影響を与えない方法、緑に覆われ目立たないような地上を通過して湧水を守るなど自然を破壊するのではなく自然と一体化した試みを希望する。

### (3) 計画(換気所)

#### 【意見のまとめ】

『換気施設の分散・高さ・排気ガスの処理方法等の再検討』や『換気設備稼働時の適切な維持管理や換気設備故障時のリスクへの確実な対応』によって、周辺地域の大气環境が悪化しないように。換気所計画に関する内容や市民に公開されている換気に関する様々なデータの分かりやすい説明を。

#### 環境

- ・換気所の数が少なく大泉への負荷が大きいことへ懸念がある。数を増やして負荷を減らすべきである。
- ・換気所が1箇所しかなく、大泉だけで負担するのが理解・納得出来ない。大泉だけで負担する状況を改善してほしい。
- ・外環から発生する排気ガスを大泉ジャンクションの換気所一箇所で排気するのは困難である。地域に影響が及ばないようにしてほしい。
- ・大气汚染の認定患者数を見ると、練馬はとて多く、現状でも大气汚染に苦しんでいるが、換気所が出来たら被害が上乘せされる。大气汚染が地域に及ばないようにしてほしい。
- ・換気塔の高さは地表面から30mとのことであるが、防音壁等の高さを考えると低いのではないか。防音壁と換気所の排気口の高さが近いので、拡散する際に影響があるのではないかと心配である。換気塔を高くして防音壁から距離をとってほしい。
- ・井荻トンネルの換気設備の故障及び故障原因が不明のことを考えると、大泉で一箇所しかない換気塔が壊れたらどうするのか不安である。1箇所だけでなく複数の換気塔をつくり、故障時のリスクに対応してほしい。
- ・井荻トンネルは昨日の段階でも故障していると聞いており、換気設備の性能やメンテナンスへの懸念がある。故障などが起こらないような性能の換気設備として、十分なメンテナンスをしてほしい。
- ・計画では換気所から100m上空に排気ガスを放出することになっているが、実際に可能なかどうか懸念がある。計画通りの性能を持つ換気所としてほしい。
- ・換気所は、欧米のようにPM2.5にも対応できる良い設備が導入されることを期待する。
- ・井荻トンネルのような事態の発生が予想されるのに、なぜ縦流式にするのか懸念している。横流式にすれば用地費がかかるが、お金と住民の健康のどちらを大切にしているのか。換気所により住民の健康に影響

響がないようにしてほしい。

- ・第3回検討会配布資料4の大气の予測濃度分布図の意味がよくわからない。私たちは学識経験者ではないのだから、わかる資料を出してほしい。

### (4) 計画(周辺部)

#### 【意見のまとめ】

八の釜を移転せざるを得ない場合は、早期に移転先の調査や代替案の作成を行い、現状の景観の継承、同等の自然の確保ができるように。生活道路への通り抜け交通の流入や渋滞、高速道路へのアクセス性など、外環整備とあわせて地域が抱える交通問題の解決につながるように。また、外環整備とあわせて周辺の用途地域を変更する場合など、周辺のまちづくりに関する情報提供を。

#### 環境

- ・八の釜の代替地は、八の釜と同等の自然を確保できるか懸念がある。例えばビオトープのような形態にしてはどうか。
- ・八の釜が移転する場所が、びくに公園のような人工的な場所では心配である。八の釜の移転先でも現状の景観が保持できるようにしてほしい。
- ・八の釜が代替地で残されることを期待する。八の釜の代替案を作成して欲しい。びくに公園内に移転することも可能ではないか。
- ・八の釜の代替地が、現状の八の釜の景観を継承できるのか懸念がある。代替案を考えるならば、移転先の調査をして景観が継承できるようにしてほしい。湧水量調査やボーリング調査を実施して八の釜の代替地の可能性をシミュレーションしたらどうか。その近くの東大泉弁天池公園の活用も検討してほしい。
- ・八の釜の移転が、八の釜を潰してから行われるのでは遅すぎて、代替にならないことを懸念している。早い時期に実施すべきである。工事着手前に調査し移転すべきである。

#### 交通

- ・現在、当該地周辺では抜け道があり生活道路が脅かされている。ジャンクションの整備と合わせて周辺の生活道路も含めた広域的な交通網を整備することで、抜け道となっている地域の生活道路の状況が改善できる。
- ・外環を建設することによって車が集まってくるため、交通状態が更に

- 悪化することが懸念される。交通状態が悪化しないようにしてほしい。
- ・外環を建設することによって通過交通が増えるため、交通状態が更に悪化することが懸念される。交通状態が悪化しないようにしてほしい。
- ・青梅街道 IC の整備が中止になった場合の大泉周辺の交通量への影響を心配している。片方だけが建設されても意味がないので両方が建設されるようにしてほしい。
- ・関越道の利便性を高めてほしい。新座料金所に出口を作ることで関越道の利便性が高まり、地域の渋滞も改善される。
- ・外環とあわせて関越自動車道の新潟方面から来る車の出口を新設することで、利便性が高まり地域の渋滞が改善されることを期待する。例えば、新座料金所か、あるいは埼玉県と東京都の境界付近で ETC 専用出口でも出来ないか。
- ・外環の整備により沿線の用途地域規制の変更が必要になる場合、生活環境にどのような影響があるのか教えて欲しい。

まちづくり

## (5) 調査

### 【意見のまとめ】

大気状況の観測やボーリング調査などにより、大泉一帯の大気質、地下水、地質の状況の詳細な把握を。換気方式の異なるトンネルや換気所の現地見学を行い、市民が換気所の方式検討するための機会の創出を。八の釜を移転せざるを得ない場合を想定した早期の代替地の調査により、移転先の目安だてを。

環境

- ・換気所に関するデータの信憑性に不安があるので、具体的な検討を行うことへの懸念がある。信頼できる換気所に関するデータが提供されることで、具体的な検討を行うことへの懸念を払拭することができる。
- ・換気所の方式が適切かどうか懸念している。縦流式と横流式のどちらがよいのか、資料を見ただけでは判断できないので、縦流式と横流式のトンネルや換気所を実際に見学することで、換気方式について検討することができる。
- ・大気汚染について示されているデータの中に、地元で観測されたデータが入っていない(大泉北小学校では、関越自動車道からの排気ガスによる影響を調べるため、定点観測を実施している)ことへの懸念がある。一番近いポイント(大泉北小)のデータを使うことで、より精度の高い大気汚染の調査ができる。

安全・安心

- ・八の釜の代替地の湧水としてこの付近の水を使うと、この地域で井戸枯れの可能性があることを心配している。広域的なボーリング調査により地下水の流れを広域的に把握することで、代替地で地下水を使った場合の地域での井戸枯れの可能性について検証できる。
- ・八の釜の移転に関しては事業が決まってから調査したのでは遅いと懸念している。事業化に先行した予備調査を行うことで、その結果を踏まえた代替地の目安を得ることができる。
- ・換気所の地震に対する安全性が心配である。換気所の位置での断層の有無など災害の視点も含めた広域的なボーリング調査を行うことで、災害時の予測を行うことができる。

## (6) 工事

### 【意見のまとめ】

工事車両の生活道路への流入を防いだり、時間帯を限定したり、歩行者空間を設けたりするなど、工事車両の集中により地域の安全性が低下しないように。また、開削部分に仮設橋を設けるなど、工事期間中に失われる生活道路の代替機能の確保を。周辺地域に対しては、工事に関する情報の提供を。

工事中

- ・開削部分を工事する際、計画地内の生活道路はどうなるのか心配である。住民が通る仮設橋を確保してほしい。
- ・工事が長期間なので、施工中の沿道住民の生活環境、生活設計への影響が心配である。各施工段階において工事車両の進入、騒音、振動等がどの程度地域に影響を与えるのか公表してほしい。
- ・工事中の子供の安全が心配である。生活圏内に工事車両を進入させない、工事車両の通行時間を制限する等の案を考えて欲しい。
- ・大泉街道は途中から歩道が無く、工事車両が通行する場合に危険である。歩道を設置して欲しい。
- ・工事中のこどもの安全が確保されるのか懸念している。工事車両の生活圏内への進入や、通行時間帯を制限することで、工事中の子どもの安全性を確保することができる。

## (7) その他

いる道路に当てはめてシミュレーションしてほしい。

### 【意見のまとめ】

八の釜憩いの森への対応や健康への影響を明らかにするなど、地域の懸念が払拭されるような情報の提供を。外環既設部分の政策評価により、事業の有効性の評価を。外環の既設供用区間での様々なデータを活用した周辺環境の影響評価を。苦しい状況に置かれている計画地内の地権者や、健康への影響や騒音・振動の影響が懸念される地域住民など、様々な立場の住民へ配慮を。

### 交通

- ・新座に出口を作ってほしいという提案については、その周辺の地域に新たに課題が生じることを懸念している。新座に出口を作ってほしいという提案については、出口周辺の地域の課題もあわせて考えることで、立場の異なる地域それぞれの利害関係を明らかにしながら検討する。

### 環境

- ・住民の健康を守ることが出来ないのではないかという懸念がある。大気汚染に関する当該地域全体でのデータを住民に提示し、住民の健康への影響を明らかにすることで、大気への影響への不安を抑制することができる。
- ・住民の健康への影響を懸念している。住民の健康を守れない計画であれば、ジャンクション計画への反対行動を起こす。住民の健康に影響がないようにしてほしい。

### 用地・補償

- ・外環整備による痛みを伴う地元住民の生活に関する補償が考えられていないことへの懸念がある。例えば、減税や騒音・振動対策費用負担を考えて欲しい。(エアコンや防音サッシの費用負担)
- ・計画地内の地権者が置かれている苦しい状況(自宅前の生活道路の渋滞がひどく、土地も処分出来ない)が続くことを懸念している。早く計画を実行することで計画地内の地権者の状況を改善してほしい。

### 計画検討の進め方

- ・事業の有効性がわからないという懸念がある。外環既設開設区間における政策評価の実施および公表して欲しい。
- ・事業の有効性がわからない。部外者を入れた外環既設部分の政策評価の実施と公表を行うことで、事業の有効性を第三者の視点を入れたかたちで検証できる。
- ・東京都では八の釜を残すことになっているが、国と都との見解、都知事と都の見解がくいちがっていることへの懸念がある。
- ・外環の既設供用区間でも環境アセスを実施しているはずである。そのデータの計画値と現状での実績値とは、かい離していると思うので、どの程度かい離しているのかを明らかにし、その傾向を今回計画して

## Jグループ

### (1) 計画(周辺部)

#### 【意見のまとめ】

外環整備と連動した地区の交通計画の検討や道路の整備により、交通渋滞や通学路の安全確保など、地域の交通問題が解決されるように。

#### 交通

- ・交通渋滞を解消するためには、外環完成後に大型車両の進入禁止の徹底など規制も徹底すべき。
  - ・外環整備による渋滞の悪化を懸念している。区と連携した地区交通計画を立てることで、道路の渋滞を緩和することができる。
  - ・今でも混雑しているのに、出入り口が増えて一般道との合流が捌ききれないことが予想される。比丘尼交差点アンダーパスなど道路の工夫をしてほしい。
  - ・すでに外環道の目白通りの出入り口が混雑しているので、渋滞を解消するために外環の整備と合わせて目白通りを拡幅してほしい。
  - ・練馬区西部の道路の充実を期待している。
  - ・外環を整備しても地域外の人が都心を通らずに済むだけであり、地域にとっては恩恵が全く感じられない。外環の整備と合わせて練馬区内の道路を改善し、地域にとっても使いやすい交通網を整備することで、地域にとっても恩恵を感じることができる。
  - ・東京中心部との連絡が重要なので、首都高速道路までをつなぐ構想の実現(10号線)が期待される。
  - ・現状の大泉IC周辺が渋滞しているのに、さらに東名方面の出入り口が増えると明らかにさらに渋滞する。下りだけの出口を新座方面に別途設置し、すでにある関越道の渋滞も緩和させたい。
  - ・大泉の渋滞を緩和してほしい。新座料金所にスマートICを導入することで、大泉の渋滞を緩和することができる。
- #### 安心・安全
- ・出入口周辺に交通が集中することで、大泉6丁目の歩車分離がない通学路に通過交通が入ることを心配している。外環完成前に既存の道路整備が必要。

### (2) 計画(換気所)

#### 【意見のまとめ】

計画地の地形が低いことから、換気施設の位置を検討したり、また換気所を分散配置すること等により、地域の大気環境が極端に悪化しないように。また、換気所の故障などのリスクにも対応できるように。

#### 環境

- ・現在の換気所の位置は料金所そばにあり、車両の発進停止などが多く排気ガスが多く出ることが想定されることから、練馬区に大気汚染が集中することを懸念している。
- ・大都市に世界でも類がない大規模高速道路の換気所を集中的に作っても大丈夫なのか。換気所を分散して設置するなどして、リスクを分散した方がよいのではないかと。
- ・出入り口付近では停・発車の排気ガスに加え、換気所による大気への影響も懸念される。換気所は一部の地域に負担が集中しないよう公平に設置してほしい。
- ・換気所の吹き上げが高ければ高いほど、汚染は近隣に拡散されるだけである。換気所を必要としないメンテナンスが開発されるまで待つべきと考える。
- ・換気所を南に移動した方が地盤が高いので、換気機能が効果的になるのではないかと。
- ・換気所は、なるべく飛散物が生じないような対策を検討すべき。
- ・換気所による大気汚染の地域集中や、故障したときのリスクを心配している。防塵装置を分散させることで、大気への影響や故障に対する不安を抑制できる。
- ・換気施設が故障したときなどのリスクや、被害の集中を心配している。換気所を現地点の1箇所だけではなく分散することで、故障に対する不安を抑制できる。
- ・排気ガスを換気所からいくら高く吹き上げるとしても、結局大気汚染は周辺地域に集中することが懸念される。周辺地域に排気ガスの影響が及ばないようにしてほしい。
- ・2.5マイクロメートル以下の粒子状物質を除去できる技術がアメリカにあると聞いており、外環の整備にもこのような技術を導入し除去して欲しい。

### (3) 計画 (環境施設帯)

#### 【意見のまとめ】

八の釜憩いの森の環境が残されるように。環境施設帯は、利用施設の整備をするなど、地域の憩いの空間に。

#### 環境

- ・八の釜は貴重な湧水なので残してほしい。
- ・八の釜の上にあるゲートボール場が外環道によってつぶされる。代替地は予定されているようだが、日陰がなく高齢者にとっては使いづらい。高齢者にとって大切なレクリエーションの場として配慮や工夫をしてほしい。
- ・八の釜憩いの森や湧水の回避ルートや保全の検討をしてほしい。
- ・環境施設帯については、八の釜の復元というと陳腐になってしまうので、切り離して考えても、住民が我慢している分、地域にとって有効な空間にしてほしい。
- ・八の釜は確かに貴重だが、これまで別の場所にあり、それが住宅開発で失われ、現地点に移ったという経緯もある。

### (4) 計画 (ジャンクション部)

#### 【意見のまとめ】

外環への出入口の位置を変更するなどにより、地域の交通に影響が生じないように。

#### 交通

- ・外環道は現在入りづらい入口設計になっているので、つなげる際にきちんと改良してほしい。
- ・現在でもICの手前で混雑しているので、高速道路に入ってからJCTに入れるようにし、一般道の混雑を緩和してほしい。
- ・周辺住民が外環を使う際、土支田通りに入ってからでないと入れないので、これ以上渋滞を増やさないために、東映通りから外環に入れるような工夫は考えられないか。
- ・外環の完成後、渋滞がさらに悪化することを懸念している。外環の出入口の位置を変更して、渋滞の悪化を抑制する。

### (5) 計画 (トンネル部)

#### 【意見のまとめ】

非常時の対応などを十分検討、準備して、大深度のトンネル部の安全性の確保を。また、浅深度トンネル部の地上部が陥没するなどといったことが生じないように。

#### 安心・安全

- ・大深度40メートルのトンネルでテロが起きたらどうするのか？対策を考えているのか。大深度のトンネルでの危険を十分に想定し、その対応策を講じてほしい。

#### 工事中

- ・深くなる途中の浅い部分は、陥没など起きるリスクがあるのではないかと心配である。陥没などが生じないようにしてほしい。

### (6) 調査

#### 【意見のまとめ】

環境等への影響調査、対策については、地表部や大深度だけでなく、途中の浅深度部分も対象とし、結果を地域に知らせるように。

#### 環境

- ・大深度部分や地表に出ている部分のデータはあるが、大深度まで下がる途中の部分の振動や騒音などの状況がどのようになるのか、また対策は十分に考えられているのか心配している。浅深度部分の環境影響の予測や調査、対策の検討をしっかりと行い、その結果を地域に知らせることで、不安を抑制できる。
- ・環境影響や健康との関係など、関係する省庁である厚生労働省や環境省などの判断を加味した総合的評価が必要だ。

## (7) 工事

### 【意見のまとめ】

工事車両の進入規制をするなど、工事にもなう大型の工事車両の集中による影響が抑えられるように。また工事にもなう地域分断の影響が小さくなるように。

#### 工事中

- ・外環の工事により、大型の工事車両の進入がますますひどくなるのではないかと心配。工事車両の地域内への進入規制をしてほしい。
- ・工事中の地域分断と交通安全性への影響が心配である。どのように対処するのか説明してほしい。

## (8) その他

### 【意見のまとめ】

外環ノ2の状況、八の釜憩いの森への対応、首都高10号線への対応などの住民が心配する要素に対する十分な情報提供を。

#### 交通

- ・周辺部の渋滞緩和策を考えているのか、外環ノ2の計画内容を含め、対策を知りたい。
- ・首都高10号線について、どの程度計画が進んでいるのか詳細を知りたい。

#### 環境

- ・八の釜を現在の計画線から外すような変更はできないのか。また八の釜に関する調査結果はどうなっているのか状況を知りたい。

#### まちづくり

- ・周辺住民にとっては、道路ができることによってどうまちが変わるかが一番気になる。現在の周辺地域の都市計画の情報がベースになるはずだが、そうした情報も提供されていないので、きちんと説明してほしい。

#### 計画検討の進め方

- ・首都高10号線など他の計画の進捗によっては、外環道は造る必要はないのではないか。首都高速10号線の計画を踏まえ、外環の必要性を明らかにしてほしい。
- ・浅深度部の工事方法について情報提供してほしい。